

石山

新宿区立戸山小学校

思いやりのある子ども

副校長 諏訪部 浩志

『The Art of TOYAMA』には、多数ご参観いただき有難うございました。子どもたちはこの日のために一生懸命練習してきました。大勢の観客の前で自分を表現できたこと、この経験が大きな自信となって、今後の学校生活に生きてくることと思います。学校では児童一人一人が次の目標に向かって努力していけるよう教育活動を一層充実してまいります。

「心の美しい 思いやりのある子ども」は、本校教育目標の一つです。学校では全教育活動の中で子どもたちの豊かな心を育む取り組みを実践しています。

学校は集団生活の場です。子どもたちがより良い人間関係を築き、楽しい学校生活を送るためには児童一人一人が自分の良さに気付き、友達の良さを認める心を育てていくことが大切だと考えます。学校生活の中で楽しい時間はいつですか？と子どもたちに問いかけると「休み時間！」という答えが返ってきます。子どもたちにとって気の合う仲間と過ごす時間は何よりの楽しみだと言えます。

しかし、時には感情の行き違いで言い争いが起こり、悲しい気持ちになることもあります。そんな時、自分に非があったならば素直に認め、相手に「ごめんなさい」が言える子どもであってほしいです。相手の気持ちに寄り添って思いやり、自分の思いを我慢できる子ども同士では、けんかは起こらないのかもしれませんが。違いがあって当たり前、お互いにその違いを認め、相手の気持ちを考えて行動することが自然にできる子どもたちが増えると素敵です。たくさんの「優しさ」が溢れる戸山小学校になることを願わずにはられません。

12月10日は「世界人権デー」です。これは、1948年に国際連合総会で、世界人権宣言が採択されたことを記念して制定されたものです。わが国では、毎年、12月4日から10日までの一週間を「人権週間」とし、全国各地で様々な啓発活動が行われています。新宿区でも、11月25日号「広報 新宿」の紙面において、『人権は、人が人として生きていくために守られなければならない基本的権利です。自己がかけがえのない存在であるように、他人もかけがえのない存在です。』とアナウンスされています。

思いやりの心を育むことは、学校教育の中だけでは実現しません。家庭、地域、学校が一体となって子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。令和6年を締め括るこの年末にご家族皆さんでそれぞれが思う「優しさ」について話し合ってみてはいかがでしょうか。

AOT について

担当

11月29日(金)、30日(土)に行われたAOT。今年度は学年別に発表内容を変え、学習の成果を基にした内容を舞台上で発表しました。お楽しみいただけただけでしょうか？この学校だよりがお手元に届くころには、ご覧いただいた発表について、ご家庭で話題になっていると嬉しいです。第一希望のセリフや楽器の担当になれた子、残念ながら涙をのんだ子も、それぞれの学年の一員として舞台を仕上げている様子が見られました。時には休み時間を削って練習したり、友達同士で教え合ったりする姿もたくさん見られ、成長が感じられた練習期間となりました。発表に向けて、保護者の皆さまにおかれましては、様々な準備はもとより、何より児童への励ましのお声をたくさんかけてくださったことと思います。スローガン「ひびかせようわたしたちの思い 輝け！努力の結晶」にちなんで、きっと児童一人一人が輝いた瞬間だったことでしょう。この「努力の結晶」を忘れず、今後の学習活動に生かしてまいります。

学年の窓 2年

2年担任

2年生は生活科で、自分たちが住む町を探検する「まちたんけん」を学習しています。子どもたちは探検を通して、そこに住んでいる人とふれあったり、地域にある場所を訪ねたりすることで、地域の魅力を発見していきます。

初めは地域をぐるっと回り、大きな木やお店、駅や消防署など、発見したものを共有しました。そして、その中から「オレンジコートショッピングセンター」と「子ども図書館」にもう一度出かけ、詳しく調べることにしました。ショッピングセンターでは、9つのお店にご協力いただき、グループごとに取材をしました。挨拶の仕方や質問の内容、道の歩き方など、事前に何度も打ち合わせをして、練習も行って当日を迎えました。初めての経験に緊張しながらも、協力してやり遂げることができました。この経験でまた一回り成長した2年生。現在は発表に向けて準備を進めています。

体力テストについて

担当

本日、1学期に実施いたしました体力テストの結果を児童に渡しました。ぜひ、お子さんと一緒に内容をご確認いただき、さらに体力を伸ばしていけるよう話題にしてください。